

# 法人協会平成27年度第1回評議員会・理事会開かれる

5月24日（日）午後1時～4時、富山県聴覚障害者センター

## 平成26年度資金収支決算書 全体統括表

本部経理、センター経理、公益会計、収益会計を合計したもの

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位:円)

	勘定科目(大科目)	26年度予算額	26年度決算額	説明
収入	会員活動会費収入	3,896,000	3,653,500	正会員、賛助会員会費
	新聞購読料収入	240,000	252,000	
	事業収入	14,545,613	14,288,368	公益事業委託料
	一般事業収入	4,550,000	5,380,815	行事参加費、手話通訳派遣等の事業収入
	書籍事業収入	1,500,000	2,320,330	
	その他の事業収入	400,000	400,000	共同募金補助金
	経営経費補助金収入	25,015,000	25,523,074	センター運営費補助金等
	寄附金収入	1,000,000	1,209,916	
	雑収入	865,000	1,004,931	
	受取利息配当金収入	4,000	3,029	
	会計単位間繰入金収入	793,072	2,667,220	公益会計から本部経理に繰入金収入
	経理区分間繰入金収入	700,411	1,556,527	本部経理とセンター経理の経理処理
	経常収入計	53,509,096	58,259,710	
	支出	人件費	28,557,082	28,520,630
事務費支出		6,349,300	5,917,333	センター管理費含む
事業費支出		15,110,522	16,112,942	会員事業、委託事業、書籍事業
経理区分間繰入金支出		700,411	1,556,527	本部経理とセンター経理の経理処理
会計単位間繰入金支出		793,072	2,667,220	公益会計から本部経理に繰入金支出
経常支出計	51,510,387	54,774,652		
経常活動資金収支差額	1,998,709	3,485,058		
施設整備等による収支	施設整備等収入計	0	0	
	施設整備等支出計	0	0	
施設整備等資金収支差額	0	0		
財務活動による収支	財務収入計	0	0	
	財務支出計	0	0	
財務活動資金収支差額	0	0		
当期資金収支差額合計	1,998,709	3,485,058		
前期末支払い資金残高	47,324,352	47,271,249	前年度の資金残高	
当期末支払い資金残高	49,323,061	50,756,307	今年度の資金残高	

評議員26人、理事12人、監事2名が出席、評議員会は石倉評議員を議長に、理事会は山崎理事を議長に選出し、「平成26年度事業報告」と「平成26年度会計決算」及び、7月1日から就任の第6期理事・監事選任（評議員会採決）、評議員選任・専門部会役員選任（理事会採決）の議案について協議し、承認されました。

左の「資金収支決算書・全体統括表」は、一般会計（本部経理・センター経理）・特別会計（公益経理・収益経理）の4会計の収支計算書の決算を合計したものです。「当期資金収支差額」の合計は、3,485,058円と黒字決算になりました。

総括報告の要約です。

①手話言語法の制定を求める意見書の取り組みは、県議会と15市町村議会のすべてで採択して頂きました。

②富山県における障害者差別解消条例「障害のある人の人権を尊重し、県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が制定されました。富山県の各障害者団体が連帯する障

害フォーラムが6年かけて取り組んできました。平成28年4月から施行されます。

③富山型デイサービス事業所「大きな手小さな手」が開所され、本会もNPO法人大きな手小さな手の正会員として運営の支援を続けていきます。

④第25回富山県ろうあ者大会を富山市聾啞福祉協会が主管、約300人参加し、サンシップとやまにて開催しました。

⑤北信越ろうあ連盟高齢部研修会を富山市婦中町いこいの村で主管開催、62名の参加がありました。また第45回全国ろうあ女性集会の準備を進めました。

⑥聴覚障害者災害救援富山県本部を結成し、県の総合防災訓練、障害者のための災害避難訓練に参加、全国防災会議派遣、防災学習会を行いました。

⑦約300名集まった文化の集い、耳の日福祉集会、講座など事業は予定通り開催しました。全国手話検定試験富山会場では139名の受験申込みがありました。スポーツでは卓球部が北信越大会、全国体育大会で活躍しました。

⑧富山県聴覚障害者センターの利用は、来所者合計6,946名、意思疎通支援事業(手話通訳者派遣、要約筆記者派遣、盲ろう向け通訳・介助員派遣)全体の利用は1,120件、部屋貸出552件、相談対応は147件でした。高齢部交流サロンの開催支援やインターネットホームページでの情報提供ができました。手話指導講師派遣が少なくなっていることが課題です。

- ⑨収益事業は、手話講習会テキスト、学習辞典が好調で、全体で1,086点の販売、460,933円の収益があり、公益事業の人件費の補填に繰り入れました。
- ⑩正会員は262名、賛助会員は77名です。正会員は平成25年度から24人減り、会員が減少しないよう拡大していく取り組みが課題です。

社会福祉法人 富山県聴覚障害者協会

貸借対照表 全体統括表

一般会計（本部経理+センター経理）+特別会計（公益会計+収益会計）

（平成27年3月31日現在）

0				負債の部			
科目	一般会計・特別会計合計	一般会計	特別会計	科目	一般会計・特別会計合計	一般会計	特別会計
<b>流動資産</b>	<b>75,258,505</b>	<b>55,801,649</b>	<b>19,456,856</b>	<b>流動負債</b>	<b>26,139,938</b>	<b>14,668,102</b>	<b>11,471,836</b>
現金預金	50,199,046	37,294,711	12,904,335	未払金	23,958,492	12,494,924	11,463,568
現金	0	0	0	預り金	540,706	532,438	8,268
小口現金	50,000	50,000	0	源泉預り金	105,220	96,952	8,268
預金	50,149,046	37,244,711	12,904,335	社保預り金	222,482	222,482	0
北陸本部	18,629,088	18,629,088	0	雇用保険預り金	119,704	119,704	0
北陸センター	18,467,821	18,467,821	0	市民税預り金	93,300	93,300	0
富山第	147,802	147,802	0	前受金	3,000	3,000	0
北陸公益	12,389,077	0	12,389,077	賞与引当金	1,637,740	1,637,740	0
北陸収益	515,258	0	515,258	その他の引当金	0	0	0
未収金	23,575,217	17,944,378	5,630,839	会計区分借入金	0	0	0
貯蔵品	906,682	0	906,682	経理区分借入金	0	0	0
前払金	189,960	189,960	0				
立替金	387,600	372,600	15,000				
会計区分貸付金	0	0	0				
経理区分貸付金	0	0	0				
<b>固定資産</b>	<b>171,865,961</b>	<b>171,865,961</b>	<b>0</b>	<b>固定負債</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
基本財産	160,795,075	160,795,075	0	設備資金借入金	0	0	0
建物	150,795,075	150,795,075	0	退職給与引当金	0	0	0
基本財産特定預金	10,000,000	10,000,000	0	負債の合計	26,139,938	14,668,102	11,471,836
その他の固定資産	11,070,886	11,070,886	0				
車輦運搬具	1	1	0	<b>純資産の部</b>			
器具及び備品	8,070,885	8,070,885	0	基本金	20,000,000	20,000,000	0
人件費積立預金	3,000,000	3,000,000	0	基本金	20,000,000	20,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	63,609,609	63,609,609	0
				その他の積立金	103,700,000	103,700,000	0
				その他の積立金	5,000,000	5,000,000	0
				人件費積立金	8,400,000	8,400,000	0
				備品等購入積立金	5,000,000	5,000,000	0
				施設整備等積立金	85,300,000	85,300,000	0
				次期繰越活動収支差額	33,674,919	25,689,899	7,985,020
				次期繰越活動収支差額	33,674,919	25,689,899	7,985,020
				（うち当期活動収支差額）	▲ 209,782	▲ 209,782	0
				純資産の部合計	220,984,528	212,999,508	7,985,020
<b>資産の部合計</b>	<b>247,124,466</b>	<b>227,667,610</b>	<b>19,456,856</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>247,124,466</b>	<b>227,667,610</b>	<b>19,456,856</b>

評議員会で出された質問意見は下記の通りです。①障害者差別解消法・条例について身体障害者相談員が相談を受けることになり研修を受けて勉強していくことが大切。②正会員の減少は心配。難聴者や人工内耳団体との関わりも考えてはどうか。センター職員のけいわん対策のための体操をして欲しい。

③手話通訳士としての報酬について、県外の様子を調査しているが、手話通訳士としての報酬を決めている地域が見られない。

また理事会では正会員の減少対策について協議しました。社会全体の少子高齢化の影響、会費が高いという理由などが考えられる。県協会と支部協会の活動の関係強化、スポーツ活動との連携、難聴者への支援強化、協会紹介パンフレットの活用、きめ細かい対話などの方法で取り組んでいくことが話し合われました。



意思疎通支援全体の実績表 ( )内は平成25年度の数

	手話通訳者		要約筆記者		盲ろう者向け通訳・介助員派遣		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14市町村から受託のコミュニケーション支援等事業	474 (415)	534 (459)	3 (9)	10 (28)			477 (424)	544 (487)
富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳設置事業	173 (198)	173 (198)					173 (198)	173 (198)
富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業					132 (114)	211 (185)	132 (114)	211 (185)
富山県コミュニケーション支援事業	25 (28)	33 (43)	5 (5)	13 (9)			30 (33)	46 (52)
富山県障害者社会参加総合推進事業・生活訓練講座等における手話通訳派遣	54 (31)	83 (64)	1	3			55 (31)	86 (64)
一般派遣	213 (185)	423 (344)	40 (14)	96 (45)			253 (199)	519 (389)
<b>合計</b>	<b>939</b>	<b>1,246</b>	<b>49</b>	<b>122</b>	<b>132</b>	<b>211</b>	<b>1,120</b>	<b>1,579</b>
平成25年度の合計	857	1,108	28	82	114	185	999	1,375

